



計算機能について

2. 傾斜ローラーによる任意方向の拘束が可能（境界条件）

節点の持っている「座標系」は、初期設定では「基準座標系」と同じ方向を向いています。（下図のP点）この、節点の持っている座標系を任意の方向に傾ける事が可能です。これを「傾斜座標」と呼びます。（下図のQ点）傾斜座標を利用する事により、傾きを持ったローラー支持（傾斜ローラー）を設定することが可能です。

